

2023 年度
第 18 回 ウイズアイ 総会



2023 年 6 月 11 日 (日)

特定非営利活動法人ウイズアイ

はじめに

令和5年6月吉日

新緑の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

特定非営利活動法人ウイズアイは、今回第18回総会を迎えることになりました。

これもひとえに皆様の温かいご理解とご協力によるものと心より感謝申し上げます。

「親子・家族・地域を愛をもって繋げるを基本理念とするウイズアイ」をキャッチフレーズに活動を始めてから今年度で28年目になり、NPO法人としての活動も17年目となります。

然し、ここ3年はコロナ禍により種々制約の中での活動を余儀なくされてまいりました。

このことは我々の活動だけでなく、社会においても出生率の低下、子育ての難しさ、不登校の増加等種々の環境の変化が増進してきております。

この様な中で我々は養育支援ヘルパー事業の委託を受け3年目・・・試行錯誤しながら、ウイズアイ独自に養育困難家庭と向き合い関わらせていただき、支援の難しさと同時に遣り甲斐を感じる事ができました。

そして東京都から思いがけず、東京都ヤングケアラー相談支援等補助事業を採択していただき、『ヤングケアラーに寄り添う伴走型支援一人じゃないよ。そんなに頑張らなくていいんだよ。助けてを発信しよう』という事業名で全力で取り組んだ一年でありましたが、一方養育支援ヘルパーの養成は今後の緊急の課題と実感する一年でもありました。

また不登校の居場所作りに取り組み、新生児～入園前の子どもの支援が主なウイズアイでしたが、学齢期の子ども達、そして若者自立支援へと、支援の対象も拡大し、学生ボランティアの協力も得ながら、多世代交流拠点の活動へと拡大してきました。

子育て世代だけを対象にしてきたウイズアイが、本気になって多世代交流を考え、地域全体で子育ての社会づくりの必要性を感じてはおりますが、あまりにも大きな命題でもありますので、段階を経て、そんな地域社会に貢献出来るかを考え徐々に実践していく所存です。

子育てを地域みんなで！！支えた子どもに、今度は支えられる社会・・・支え合う、循環社会・・・みんなで、ちょっとのお節介をしあう、顔の見える関係作りをしていきたいと考えています。

これからも、皆様のご理解とご支援をどうぞ宜しくお願い致します。

特定非営利活動法人 ウイズアイ

理事長 吉松治任

2023 年度

特定非営利活動法人ウイズアイ 通常総会

- ・日 時 2023年6月11日(日) 10:00~12:00
- ・会 場 コミュニティプラザひまわり

式 次 第

第一部

1. 開会のことば/定数確認
2. 理事長挨拶
3. 議長選出
4. 議事録署名人選出

議案

- 第1号議案 令和4年度事業報告
- 第2号議案 令和4年度収支決算報告及び監査報告
- 第3号議案 令和5年度事業計画(案)について
- 第4号議案 令和5年度収支予算(案)について
- 第5号議案 役員改選案
- 第6号議案 その他

5. 閉会のことば

第二部

1. 会員交流

第 1 号議案 令和 4 年度事業報告

1. 令和 4 年度通常総会報告

令和 4 年の総会は予定通り開催され、以下の通り承認されました。

第 17 回通常総会 令和 4 年 6 月 18 日(土) みんなのおうち「ゆいゆい」

出席者 170 名 (本人出席 12 名 委任状出席 158 名) 会員総数 292 名

審議事項

第 1 号議案 令和 3 年度事業報告について承認の件

第 2 号議案 令和 3 年度収支決算報告書及び監査報告について承認の件

第 3 号議案 令和 4 年度事業計画について (案) 承認の件

第 4 号議案 令和 4 年度収支予算について (案) 承認の件

2. 令和 4 年度総括

1. 事業遂行と団体の基盤作り

(1) 保育事業の充実と見直し

- ・利用者ニーズに対応しつつ、安心安全な保育のための環境整備を進める。コロナ助成を受けて、ひまわりの保育室をリニューアル、あいあいも明るい色のカーペットを敷き、より清潔で家庭的な保育環境となる。
- ・支援者の働き方改革を進める（労務整備を中心に、資格手当や有給休暇などの見直しを行った）
団体内の働き方の格差を最小限に、働く職員も大事にされる体制作りの為、社労士に入っていた
き、定期的に話し合いを行い、改めて団体の理念などを振り返る時間を持った。
- ・研修の受講を団体として推奨し人材育成を進めた結果、3 名が新たに保育士資格を取得した。
- ・団体全体で保育の在り方を考える「保育プロジェクト」を発足し、ウイズアイの保育園構想を話し
合えた。日曜・祝日・年末（年始 3 日のみ休み）に一時保育を利用できる施設はなく、主に仕事を
しているご家庭のお子さんが利用している。預かるお子さんの年齢も 0 歳～小学 3 年生ぐらいと幅
広く、保育時間も早朝～翌日までと長い。常勤職が増え平日日中の一時保育の体制は安定したが、
日曜・祝日に従事するスタッフの負担は大きく、緊急 24 時間の一時保育の体制作りが大きな課題
である。このようなニーズを受け入れられる多機能を持つ認可保育園（0 歳～5 歳児）の運営を目
指したい。
- ・市内学童保育の指定管理入札に参加したがかなわず。今後、如何に安定した基盤を持って事業を継
続していくか、検討したい。
- ・コミュニティ・スクール学校運営協議会への協力、他団体との連携を進めるために 6 小をメインに
出向き、学校の中で、不登校の居場所づくりや親の会の開催に繋がる一歩となった。

(2) 既存事業

- ・コロナ禍が続く中、一時保育やつどいの広場事業を安定して行うことができた。
基盤を強化するための財源の確保と人材確保に向け定期的に研修やミーティングを重ね、
メンバーのチーム力が向上した。シフトなどもみんなで協力してカバーしあえた。

・アンケートを形骸化せず、成果と課題をチームで検討していく為の時間がとれなかったことは、今後の課題としたい。マンネリ化せず、利用者の声から新たな事業を興してきたことにより団体が発展して今がある。常に利用者からの声を大事にしたい。

【委託事業】いきいき子育て支援事業・つどいの広場事業・養育支援ヘルパー事業
赤ちゃんのカプロジェクト事業

【補助事業】緊急一時保育事業・対象児童見守り強化事業・子どもの食の確保

(3)小規模保育園の運営強化

- ・令和4年度、小規模保育園に第三者評価を受け、サービスの内容、組織のマネジメント力等の評価を行うことができた。
- ・定員に満たない場合、余裕活用型の一時預かり事業に新たに取り組み、地域の多様なニーズに対応。

2. ICT（情報通信技術）環境整備と活用

- ・つどいのひろば拠点および小規模保育園におけるインターネット環境を整備し、メール相談なども受けられるようになり、事務作業の効率化も図れた。
- ・ICTの事業活用（連絡、報告、赤ちゃんのチカラプロジェクト中継など、コロナ禍でもスムーズな対応ができた）
- ・小規模保育園ではICTシステムを新たに導入。保護者との新たな連絡手段等に活用。
- ・労務管理や日々の事務作業等、ICT化によって可能な更なる効率化を進める。

3. 助成金事業に全力で取り組む

清瀬市支援対象児童等見守り強化事業は、私達の中では、貧困・養育困難・制度の狭間の人達を救う根幹の事業である。柔軟に、緩やかに、暖かく、長期的な関わりが求められるケースが多く、支援の有様を問われる事業でもある。

養育支援ヘルパー事業委託と同時期に、見守り強化事業を採択していただき、3年目に入った。この二つの事業は、当団体が細々かろうじて何とか守ってきた独自の事業から、団体を支える柱として成長・確立した。同時に、子ども家庭支援センターとの連携が強化され、共にケースを共有し伴走しながら支援の形がくれたという手ごたえを感じた。

民間である当団体は、もっと自由に、柔軟に、利用者のニーズに添ったサービスを生み出していかねば、多様なニーズに応えられない。支援のメニューをどう増やしていけるかを考え続けた。

如何に他の専門職や同じ目的をもつ連携団体と出会えるか、他団体と繋がれるか・・目の前のケースを大切にやり続けるエネルギーを維持しつつ、自分達の心身のバランスを保つこと、そして組織としての機能・チーム力を育てていく人材の育成にも心を砕いた。

定期的な家庭訪問は、支援の在り方を考えさせられると共に、生活の場、その人らしさを一番安心して出せる場であり、家族丸ごと支援を実感できた。送迎や食事の提供を無料で提供し、まさに実家の役割を果たせたと感じた。

親子で泊まれる母子シェルターは、どんな事があっても、私達はあなた達を、母子を守るのだという強い思いを言語化せずに伝えていくことだと思いながら関わり、大きな岐路にたった母子が身体と心を休め、新たな道を歩みだす一歩を応援できた。

1) 受託事業

(1) 小規模保育園 あいあいちびっこルーム

◎第三者評価を実施

令和4年7月、開園5年半をむかえ、初めて第三者評価を実施、おおむね高評価を頂いた。
これは職員の日々の努力の成果であり、評価に向けて書類や保育内容の見直し、様々な整備が進み、これを可能にする職員体制によるところも大きかった。

◎多様化する園児への対応

保育では、様々な個性を持ったお子さんのお預かりや保護者の(育児疲れ)ケアのため他機関との連携による取り組みや、外国籍のご家族に対する対応等も行った。
また、長時間保育のお子さんが増え、そんな中、子どもたちの生活リズムをどう整えていくか、子ども同士の関係性をどう育てていったらよいか、長時間安全にお預りするために、どのようにしていったらよいか職員が話し合い、工夫し実践を重ねた。
このように保護者、園児ひとり一人にきめ細やかに対応し、高評価を得たが、職員の負担は増え、人員の補充、確実な休憩場所や時間の確保が、課題の一つであり、改善していきたい。

◎保護者支援の充実

保護者支援として、空き定員枠での一時保育の開始
手ぶら登園を11月から、導入している
コロナ禍での行事の見直しで、親子じゃが芋掘りを行ったが、大勢の参加があり、土曜日実施は負担ではないかと考えていた園と、保護者のニーズに違いがみられた。

◎ICTシステムを導入

1月より、保護者連絡と保育者の仕事の効率化を含むアプリ「コドモン」の運用開始。
他、情報発信として、ホームページに保育の写真を掲載しはじめている。

◎選ばれる園を目指して

令和4年度に引き続き上記の取り組みを継続していく。
園の情報発信については、保護者に対しては園の様子がより見えることにより安心感を、園外の方に対しては園の魅力を知っていただけるよう、Instagramを現在準備中。
地域の子育て支援の役割を広げてゆくことは、求められている園はどういう姿なのか、保護者のニーズにも積極的に応えてゆくために、令和4年度に導入したICTシステムを活用してアンケートを行い、実行に向けて検討実施してゆきたい。
今後も園を取り巻く様々な状況をしっかりと見つめ、必要と思われる新たな取り組みを積極的に実施していきたいと考えている。

あいあいちびっこルーム 北村

ホッとひととき

～空き定員枠での一時保育を利用されたママより～

私は、第二子妊娠中に、初めて一時保育のちびっこルームを利用しました。
悪阻で上の子(娘)のお世話ができない中、ちびっこルームを利用できたのは、本当に助かりました。
先生方にもとても良くしていただき、娘も保育園のお友達や先生方と楽しく遊べていて、安心して利用する事ができました。
ただ、一時保育の定員数の枠に対して、利用したい人の数の方が圧倒的に多く、利用したいけど、利用できない事もありました。今後も利用したいので、もう少し定員数の枠が増えたら嬉しいです。
また何かあった時に、預けられるのはとても助かります。

(2) 養育支援ヘルパー派遣事業

《実績》

- ・コーディネート 新規 26 件 更新 17 件
利用なし 8 件
- ・訪問回数 251 回 (前年比 226%)
- ・訪問時間 738 時間 (前年比 244% うち 2.3 月の利用が 3 割を占める。)
- ・依頼理由は、産前産後が大多数。
その中でも、産後うつなどの精神を病んだ方、体調不良、不安を訴える方が目立った。
他病気や障害、多胎児等

◎成果

- ・今日、明日という緊急依頼にも対応した。
- ・送迎をつけることで、一時預かりや講座等への参加が可能になり、孤独孤立の防止と地域との繋がりを持たせることができた。
- ・養育支援ヘルパーの利用だけでは足りない利用者には、他の支援に繋げる支援ができた。
- ・多胎児への親支援、外出や受診等による病院へのヘルパーの同行で、足りない手を補い、不安や緊張に寄り添い、安心感を得てもらえることができた。
- ・養育支援ヘルパーの利用はなくても、コーディネートした全ての方を、各種支援に繋げている。
(一時預かり、産後ケア、ひろば、講座、見守り、ヤングケアラー、ホームビジター、ファミリーサポート、移動支援等)
- ・更新により長期にわたる利用者へは、複数のヘルパーで対応したケースが増えた。
- ・研修、ケース検討を行い、ヘルパーの増員ができた。

◎課題

- ・年度末に依頼が集中し、ヘルパーのやりくりができず、お断りするケースが出てしまった。
- ・傾聴していると、ママの気持ちが変わってしまうことがあり、ヘルパーへのメンタルトレーニングの必要性を感じた。

◎今年度の目標

- ・訪問率 100%
- ・養育困難家庭へは特に手厚く、他支援への積極的なアプローチも心がけていきたい。

ホッとひととき～スタッフより

【養育支援】 保育のみでの訪問

自宅に訪問しての保育はとても難しく感じました。

その家庭のルールもあると思いますし、ママの思考もあると思うので。

一時保育の時のように 1 日の流れが決まっているわけではないので、依頼があった時間を子供とどう過ごすか。

毎回今日は何したいかな？機嫌はどうか？など訪問時（初訪問の時は特に）緊張がありました。

ただ訪問することでその家庭の状況や問題点やお子さんの様子、ママの様子がとてもよくわかると思うのでそういう点に注意をしながら依頼があれば訪問していきたいと思います。

(3) つどいの広場事業

	実施回数	参加者数			従事人数	相談件数
		親	子	総数		
下宿つどいのひろば	303	2976	3414	6390	668	1448
（下宿 赤ちゃんひろば）	46	316	315	631	98	—
（パパもいっしょに）	9	28	36	64	—	—
（with 多胎児）	20	1	2	3	—	—
（あおぞらひろば）	43	208	261	469	82	—
（工作）	72	—	—	125名	—	—
（助産師の専門相談）	8	—	—	43件	8	—
（食育相談）	6	—	—	18件	6	—
（身体の相談）	12	—	—	24件	12	—
野塩つどいのひろば	303	4353	5628	9981	741	2155
（野塩 赤ちゃんひろば）	42	381	385	766	99	—
（よちよち親子遊び）	21	145	144	289	59	—
（あおぞらひろば）	15	80	91	171	30	—
（工作）	101	—	—	297名	—	—
（食育相談）	12	—	—	48件	12	—
（身体の相談）	12	—	—	32件	12	—
梅園（あいあい）つどいのひろば	57	407	492	899	188	311
（あいあい 赤ちゃんひろば）	25	113	116	229	75	—
（絵本の日）	12	57	57	114	20	—
（オンラインつどい）	0	0	0	0	0	—
計	663	7736	9534	17270	2110	3914

	4年度成果	次年度への課題	今後の目標
下宿つどいのひろば	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍地域の利を生かして推し進めた[青空ひろば]は、赤ちゃんひろばから繋がる親子が目に見えて増えた。 ・お家に籠りがちな生活からの親の育児疲労や子どもの発達不安を一時保育に繋げる事で多角的に見守りが出来た。 ・助産師の専門相談日をもうけ敷居の低い場所を創ることでより安心感と信頼が築かれた。 <p>【下宿あおぞら広場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通年で曜日を固定したことで参加者が増えてきた。特に赤ちゃん広場を経た参加者が増えたことで、参加者同士の繋がりや輪が継続し、親交が深まった。 ・野塩と下宿合同で秋に金山緑地公園で遠足を開催し、好評を得た。自然を守る会の方々のご協力もあり、植物や昆虫について関心を深めることが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近所の親子が、つどいの存在すら知らない事も多く、より広く認知される工夫が必要。 <ul style="list-style-type: none"> ・室内と野外のスタッフ数の確保が難しく、昨年度は室内は一名で回した点。 ・夏場の猛暑日の開催について、明確な開催基準を設けていなかった点。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近所の親子が、つどいの存在すら知らない事も多く、より広く認知される工夫が必要。 <ul style="list-style-type: none"> ・満3歳入園やプレプレが充実している中、参加するこども達が低年齢化している(1~2歳)ので、年齢に沿った遊びの提案や安全対策をしていきたい。
野塩つどいのひろば	<ul style="list-style-type: none"> ・野塩地域市民センターが改修工事の間お世話になったむらさき会の方々をお招きし、三味線や尺八の和楽器を披露して頂き、世代間交流を行った。 ・つどいのひろばのチラシを作り、健診セットに入れて頂いた。 ・市内の中学生を職場体験として受け入れた。 ・野塩地域市民センターで再開し、0歳の赤ちゃんの参加が増えた。ママ達を繋ぐ事で、地域内でのママ達の交流の場となり、子育ての不安や心配事を話したり、共有することにより、ママ達の育児不安を和らげる事ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋が狭く、せっかく来てくださったのに、コロナ禍で人数制限していた為、お断りする事もあった。 ・パパの参加も増え、授乳スペースの確保が難しい。 ・部屋が狭い為、プライベートな話しがしづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して世代間交流に取り組みたい。 ・コロナ禍で中止にしていた、利用者アンケートや、利用者懇談会を開催し、利用者の意見を聞き、より良いつどいにしていきたい。

	<p>・赤ちゃんひろばを卒業したが、まだ青空ひろばに参加出来ない親子の為に「よちよち親子遊び」を開催した。月2回、予約不要で、つどいの赤ちゃんひろば担当のアドバイザーが入るので、専門性が活かされた内容となっており、とても好評である。</p> <p>・青空ひろばに参加出来ない年齢のお子さんの為に、その時間はつどいの部屋も開室し、青空、つどいと同時開室した。</p> <p>【野塩あおぞら広場】</p> <p>・より多くの方に周知され、目的の一つである、歩くこと・走り回ることなど、十分に楽しむ事ができ、一年を通してお子さん達の成長がみられた。</p>	<p>・散歩・公園遊び共に、駅近・住宅街という事もあり、遊び場の選択肢が少ない。</p> <p>・草花・生き物など自然物に触れる場が少ない。</p>	<p>・下宿・野塩合同遠足を開催し、秋の自然を楽しむ事ができた。今後も合同企画を考えていきたい。</p>
<p>梅園 (あいあい) ひろば</p>	<p>・他のつどいのひろばが休館している月曜に開催する為、行き場のなかった親子に遊ぶ場を提供することが出来た。</p> <p>・生活、育児に困難さを抱えているご家庭に一時保育へ繋げる活動が出来た。</p> <p>・木の玩具、手づくり玩具が多く、利用者への玩具の遊び方等意識を変える事が出来た。</p> <p>・夏場には、庭のスペースにテントを張りタライに入れた水での水遊びは、お子さんの初めての水遊びとなる事が多く好評だった。</p>	<p>・開催日の少なさや、立地により知名度が他のつどいよりも低いため、利用者が限られ少ない。</p> <p>・雨天時は駐車場が少ない為、更に利用者が少なくなる。</p>	<p>・コロナの流行で中止していた散歩を季節ごとのイベントとして再開させたい。</p> <p>・知名度を上げる活動(通信、SNS活用)をしていきたい。</p>

赤ちゃんひろば

	4年度成果	次年度への課題	今後の目標
野塩赤ちゃん ひろば	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ罹患について、オープンに話せるようになり、お子さんや家族が罹患した際の体験を共有できた。 ・パパとの関係や子育ての悩みなど、ママ同士が話しやすい場を提供できた。 ・栄養士による食の相談、理学療法士によるからだの相談を実施。ネット等、情報が多過ぎることで悩まれるママたちが多いが、専門相談があることで、情報の整理ができた。 ・手遊び、わらべ唄遊びを伝えることで、ママたちが『赤ちゃんとどのように遊んだらよいか分からないので助かる』との声あり。 <p>『絵本の読み聞かせ』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本の時間になると集中して聞いてくれる子が多く、赤ちゃんでも絵本に興味をもつことが保護者にも伝わっていた。 ・赤ちゃん絵本の選び方が参考になると好評であった。 ・「主食」の絵本、「おやつ」の絵本の考え方を話した際は、良作を読まなければいけないプレッシャーを緩和し、読み聞かせを柔軟に家庭で取り組めると、つどいスタッフや保護者から感想があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、ママたちが安心して楽しくおしゃべりができ、少しでも悩みを解消して子育てに自信が持てるようなひろばを目指す。 <ul style="list-style-type: none"> ・解説など、情報をお伝えして時間をとってしまうので、手遊びやわらべうたを最初と最後だけやって終わる会もある。 ・今年度は性教育と合わせて絵本の時間になるので、解説は前半に留め、後半はふれあいの時間を多くとっていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・常連さんの参加が多いので、初めて参加するママが入りやすい場を提供していく <p>対象：0歳の赤ちゃんと保護者</p> <p>目的： 0歳から絵本に親しむことができるよう集団での読み聞かせ。 また、保護者に対して絵本を読むコツをお伝えし、家庭でも読みやすい絵本の紹介をする。</p>
梅園 (あいあい) 赤ちゃん ひろば	<ul style="list-style-type: none"> ・一時保育登録の見学への案内がスムーズである。 ・赤ちゃん広場で唯一の午後開催の為、午睡や離乳食の時間と重なりつつも参加があった。 ・毎回ある絵本ボランティアの方による読み聞かせが好評だった。 <p>・参加者の様子に合わせ、ストレ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ママ同士のグループ化されたところへ初めての方が入りづらい。そのため話やすく、リラックスできる環境作りや声がけなどの配慮をする。 ・少人数の場合の内容を再考する。参加者からやりたい事や聞きたいことを吸い上げる機会を作る。 	

	<p>ス発散や身体のケア、遊びなど多様なニーズに応え、利用者同士を繋いだ。</p>		
ひまわり赤ちゃんひろば	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の参加者が増え、異なる月齢の赤ちゃん同士のやり取りやママ同士の関係も深まった。 ・わらべうたとストレッチを毎回行うことで、在宅時間の充実や、身体のケアが出来た。ここで身体を動かすことを日課にしている参加者もいた。 ・赤ちゃんが広いマットの上で安全に沢山寝返りやはいはいすることができ、保護者が発達の様子を把握しやすい。 ・ウイズアイひまわり事務所の一時保育の案内や他の保育付き講座、新設された0歳児のプレイルームをスムーズに案内できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童センターころぼっくるにて同じ時間に同月例対象の赤ちゃん向け講座があるため、対象年齢や講座の内容を考慮する。 ・さらなる周知のため一時保育利用の方や、他講座参加の下の子へ赤ちゃん広場へ案内する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的にひまわり赤ちゃん広場の周知をする。 ・精神的にも安心安全な場であるよう配慮する。(ストレッチの際はドアの窓に布など)
よちよち親子遊び in 野塩	<ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんが歩き始め、『赤ちゃん広場』を卒業後『親子遊びの会』(対象1歳半～)に行けるまでの期間、親子で過ごせる会がほしいとの声から初開催に繋がった。親子で遊ぶ&みんなで遊ぶをテーマに、毎回、内容を変えて実施。集団で楽しめる遊び&自宅でもできる親子遊びを意識して企画し、好評だった。 ・歩き始めたからこそできる身体を使った遊びや、音楽や道具を活動内容に取り入れることができた。参加者の反応を見ながら毎回創意工夫を行った。 ・子ども同士のやり取りを親同士が見守ることができた。例として、子どもができたらずくに褒めてあげよう、安全には考慮しつつ子どものやりたい気持ちを尊重しよう、といった事で、参加者同士が共通の意識を持つ事ができた 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加できる期間が限られているため、対象月齢を見直す。 親子遊びを開催しているひまわりまで行きづらい親子には対象月齢の猶予を持たせるなど。 	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる広報をする。つどいの広場、赤ちゃん広場での口コミの広報が効果的である。 ・参加者へのリピートを促すために、内容を更に熟考する。 ・妊婦さんの参加も多く、負担にならないように配慮する。

市民活動センター赤ちゃんひろば

	4年度成果	次年度への課題	今後の目標
絵本ひろば	<ul style="list-style-type: none"> ・予約不要にしたことで参加者が増えた。 ・保育者が入るようになったので、ママも講師も若干のゆとりが生まれた。 ・親同士の交流の時間も取り、賑やかな話し合いの場が取れた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者が増えるのは嬉しい反面、ゆったりとした読み聞かせができない。 ・交流タイムの話題に悩む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆったりとした読み聞かせができるよう、工夫していきたい。 ・ママ向け絵本を読んでいきたい。
ベビー マッサージ	<p>コロナの状況がまだまだ不安の中の一年だったが、少ない機会の外出の場として活用してくれた</p> <p>家の中にいる時間が多くなっていてからこそ、家の中でできるコミュニケーションであるマッサージを活用くださったのではないかと思う</p>	<p>ご参加の人数がその月により波があり、予測ができないことも多かった。</p>	<p>本来、ベビーマッサージはコミュニケーションなので、赤ちゃんにとってはお母さんの顔や表情を見ながら行っていくもの。運営時もお母さんの表情をみて開催しているので、マッサージ中だけでも、マスクを外して開催できると良い。</p>

ホッとひといき～スタッフより

予約制をなくしたことでママ達も参加しやすくなったのか参加していただける人数が増えました。

しかし部屋の広さに限りがある為人数制限をせざるを得ず、申し訳ない思いをする事もありました。

参加者が増える事でお子さんの月齢もバラバラで低月齢の子もいたり活発に動き回る子もいたりして座る位置を分けたり間に入るなどして工夫をする必要があります。

ママ達の交流の場でもあり最近の出来事やこんな時どうしてますか？など先輩ママや同じ月齢頃の

ママ達の意見交換ができる場でもあるのでみんなが参加しやすい場所であるようにできればと思います。

(4) 清瀬市いきいき子育て支援事業

事業名	実施回数	参加者数			従事者数			
		子	親	総数	講師/FA	会場係	保育	総数
新米ママと赤ちゃん会	44	283	280	563	46	37	121	204
ベビーマッサージ	9	59	61	120	12	1	6	19
パパママベビーマッサージ	9	43	62	105	14	3	0	17
双子三つ子の会	12	82	49	131	12	12	48	72
母乳相談(おっぱいママ)	11	9	9	18	11	0	0	11
NP 講座	12	77	78	155	24	12	71	107
育み講座	8	35	37	72	8	8	28	44
CSP 連続講座	9	48	75	123	18	15	23	56
CSP 体験	1	3	4	7	1	1	3	5
親子遊びの会	18	115	110	225	19	40	6	65
すくすく親子教室	19	202	158	360	22	41	34	97
すくすくクッキング	3	22	32	54	6	3	16	25
防災講座	3	24	27	51	3	7	8	18
身体の発達講座	3	31	33	64	3	7	7	17
救急講座	2	44	48	92	3	10	12	25
絵本講座	1	10	10	20	1	3	8	12
事業計	164	1087	1073	2160	203	200	391	794

	4年度成果	次年度への課題	今後の目標
新米ママと赤ちゃんの会	12 クール 48 回の実施。 完成されたプログラム実施と、参加者に合った臨機応変な対応によって、地域の横の繋がりをゆるやかに促した。	出産直後の広報。 交通手段がない、または外出の不安が高い利用者への支援の確立。 ファシリテーター、保育者の育成。	FA および保育者育成のための養成講座開催。 見学・実施・FB の流れを確立する。他市、他地域からの講座開催希望に対して普及に努めるとともに、日本社会事業大学宇野研究室の研究協力を進める。
パパママベビーマッサージ	・会場を梅園と下宿で毎月行い、定員の参加者で行えた。 パパと一緒に参加できるイベントだと好評である。 ・パパが我が子以外の子どもに接したりパパ同士が子育てや家族のことで話し合える。 ・パパと子どもが集いに参加したり、一時預けの利用等、子育て支援の情報をパートナーに知らせる機会になった。	つどいの広場の中で、パパの子育てスキルをアップさせる講座の一つとして取り組み、パパといっしょに遊ぼう等へとつなげていき、パパの交流の機会を増やしていく。	トイコンとらいあぐるのメンバーとの連携で、おもちゃの広場を開催し、パパ達の子育てスキルをあげていきたい。

双子 三つ子の会	東久留米から参加の双子ママが、東久留米社会福祉協議会の協力を得て、ひがしくるめツインズを発足。保育付きの講座を定期的に開催。清瀬双子の会が、多胎児の子育てサークルを立ち上げる原動力になった。	多胎児を育てた先輩ママが多胎児支援に入り、多胎児の子育てを応援する仕組み創り。	東久留米市の多胎児を育てるパパ達にも呼び掛けて、多胎児のパパのネットワークを拡大していく。
母乳相談 おっぱいママ	母乳育児を促進・支援する「おっぱいママの会」は、会場を中清戸地域センターに移し、第4金曜日の午前中に開催。前年度と同様に参加者は少なく、断乳についての相談・復職後のおっぱいケア・乳腺症後の不安など、個別対応が主だった	・市の産後ケアが始まり個別対応が充足したこと、コロナでの参加控えと、近距離の集いで問題解消ができていることで、参加者が増えない状況だったと思われる。 ・母乳育児は近年、減少している。母乳育児を啓発する必要がある。	身近に母乳相談できる場として、相談場所を下宿つどいの中で継続とする。
N P 講座	保育付きの連続6回講座を2クール実施。新たに養成講座修了者が2名講座運営を経験し、1名が年度内に認定資格を取得した。	参加者確保。 多くの方が共感できる明確なテーマ設定。	FA 認定審査会に向け他のFAからもFBをもらう。 スキル向上のためフォローアップ講座を企画する。
育み講座	育休中の参加者を念頭に開催している講座で、0歳の子育てに必要なことを共有し仲間づくりを促した。	申し込み前に講座の内容を具体的に知りたい方にとっては、テーマが漠然としており、検討の余地がある。	ニーズに対応した講座を誰が担当し、どのように企画し実施するか明確にする。
CSP 連続講座	“前向きなしつけの講座”として11年継続開催。指導者ライセンス更新に加え、“新版”導入。“ほめる”“教える”を通し、親子の絆を強めるスキルを学ぶ。	対象年齢と広報対象者のずれから、必要な方に情報を届けられていない。 指導者の学びの場、時間、研修費の確保。	紹介講座を3回に増やし、幅広い年齢層に届ける。 スタッフへの研修導入を検討する。
CSP 体験	CSP連続7回講座のダイジェスト版として開催。対象年齢に満たない方、育休中の方、ご興味のある方など幅広い方が参加。	正規セッション連続7回に参加が難しい方に、紹介（体験版）講座を定期開催していく。	ご家庭で実践できるスキルの定着を目指す。 スタッフにも団体内研修を開催し考え方を共有する。
親子遊び	・広場事業での紹介、友達を誘っての参加者が多かった。 ・異年齢での参加なので、他児を通して今後の成長をみられたり、参加者同士でアドバイスやヒントをもらう姿もみられた。	・室外へ出る機会を増やし、外階段を使うこともあったが、親子で手を繋いでいても足を踏み外す事故が起きてしまった。	・異年齢であることのメリットを生かし今後の成長過程をしてもらい、それを促す言葉がけのバリエーションを増やすきっかけになる場にする。

<p>すくすく 親子教室</p>	<p>前年度に続き参加者が少なく、1学期から3学期まで連続参加する方が多かった。従って個々の成長に合わせて対応する余裕もあり、参加者同士の交流も密であった。</p>	<p>連続参加しているうちに慣れてしまい親同士で話しに夢中になり、子供から目が離れ怪我に繋がりそうな場面がみられた。</p>	<p>子ども親も集中する時、気を緩めて自由に過ごす時の緩急をつけ、安全で子供の成長を見つける機会を増やす。</p>
<p>すくすく クッキング (外部講師)</p>	<p>旬の食材を使った沢山のレシピと応用方法を教えて頂き、幼少期に必要な食育のお話は特に参加者に好評だった。</p>	<p>コロナウイルス流行の為、現在は作った物を試食なしでお持ち帰り頂いているので、参加者同士のコミュニケーションを取る方法を試食以外で考えていきたい。</p>	<p>乳児以外にも参考になるレシピとお話なので、もう少し参加者の幅を増やしていきたい。</p>
<p>赤ちゃんの 防災講座 (外部講師)</p>	<p>普段から使える防災グッズや災害時に使えるアプリをいくつか紹介して頂き実践の備えができた。先生の経験に基づいたお話はとても参考になり、防災意識が高まった。</p>	<p>スライドとプリントがリンクしていないので、講義内容を後から見直せるように、すべてのスライドを紙かデータで頂きたいのご意見があったので先生にご相談したい。</p>	<p>講師よりオンラインなどの方法があると、なお多くの方が受講しやすいのではないかとご提案頂いたので考えていきたい。</p>
<p>赤ちゃんの 身体の 発達講座</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運動発達だけでなく、生活リズムの重要性や、身体の発達からみた離乳食の話も、講座に盛り込んだ。 ・6カ月未満の赤ちゃんが同室のため、実際の赤ちゃんの動きをみんなで見、動きの説明をしながら講座を進行。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達を促すような体操を教えてほしかったという感想があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ママたちが身体を動かしながら、赤ちゃんの身体の発達を学ぶ実技中心の講座に変更する
<p>赤ちゃんの 救急講座 (外部講師)</p>	<p>乳児期の救急の知識を家族で共有したいという方が増え、ご夫婦での参加が増えた。色々な救急の場面での対処法を知って頂けた。</p>	<p>コロナウイルスの流行で、心配蘇生や異物除去等、実際に人形を使った練習が出来なかった。</p>	<p>機会があれば心肺蘇生や異物除去の方法を実際に体験したいという参加者からのご要望にも対応できるようにしていきたい。</p>
<p>絵本講座</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・0歳ママが多かったことで、親子の読み聞かせによる愛着形成を基に、選書や効能についての話を詳しく伝えることができた。 ・親の読書活動の向上という観点からも話をしているが、本講座を通し、「絵本で子育て」センターの絵本講師や、読書活動を支える担い手を目指す方もいて、地域の読書推進の根っこになっているのではと感じている。今年度、絵本講師が更に誕生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・0歳ママ中心の講座になってしまい、他の参加者へのお話が短くなってしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本講師を目指す人を増やす。 ・参加者の交流時間を設け、絵本談議をしていきたい。

*独自事業

事業名	実施回数	参加者数			従事者数			
		子	親	総数	講師FA	会場係	保育	総数
ママベビ体操	12	71	71	142	12	0	8	20
赤ちゃんカフェふわっとん	41	156	165	321	84	0	0	84
ここのつまでの優しい性教育講座	2	15	14	29	2	2	13	17
事業計	55	242	250	492	98	2	21	121

ひまわり

事業名	実施回数	参加者数			従事者数			
		子	親	総数	講師FA	会場係	保育	総数
赤ちゃんひろば	20	126	126	252	8	40	2	50
ねんね講座	2	26	26	52	2	4	16	22
育み講座フォローアップ	1	5	6	11	1	0	4	5
不妊治療で授かったママの会	2	11	12	23	2	0	7	9
キラキラ家族交流会	2	7	9	16	0	7	1	8
双子・三つ子同窓会	1	0	6	6	1	0	0	1
ヤングケアラー支援者養成講座	1	0	21	21	1	0	0	1
生活支援者基礎研修	3	0	42	42	3	28	0	31
親子でおいもほり	1	8	8	16	0	2	0	2
木のおもちゃ製作	1	0	11	11	1	10	0	11
新米ママと赤ちゃんの会ファシリテーター養成講座	1	2	3	5	4	0	1	5
事業計	35	185	270	455	23	91	31	145

ゆいゆい

事業名	実施回数	参加者数			従事者数			
		子	親	総数	講師FA	会場係	保育	総数
ももずきん	4	9	13	22	4	0	0	4
個別抱っこ・おんぶ紐指導	3	5	6	11	3	0	0	3
個別母乳ケア	2	2	2	4	2	0	0	2
時短&リメイク料理講座	10	44	44	88	10	14	0	24
おんぶクッキング離乳食講座前編	10	40	40	80	20	11	0	31
おんぶクッキング離乳食講座後編	10	48	48	96	20	13	0	33
産後骨盤ケア	5	8	8	16	5	0	0	5
産後ヨガ	7	7	7	14	7	0	0	7
事業計	51	163	168	331	71	38	0	109

	4年度成果	次年度への課題	今後の目標
おんぶ de クッキング	<ul style="list-style-type: none"> ・おんぶ初心者のママ達におんぶ紐の紹介や体に優しいおんぶの仕方を伝え、ご自宅でもおんぶをするきっかけになった ・大人の食事からの取り分け方や調理法など、実習時のアドバイスは家庭でも実践しやすいと好評だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者をハイハイ前と後に分けて実施。ハイハイ後の赤ちゃんは体重も増え、おんぶでの調理は大変そうだった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は実習後、ママたちにゆっくり食事をとって頂けるようにママカフェ ver.に変更し、定期開催する。
清瀬ももずきん	<ul style="list-style-type: none"> ・「家族参加、パパも絵本」で、子どもの発達に気づきを得られている。 ・年齢相当ではなく発達に合わせた絵本を読んであげた結果、親から非常に喜ばれた。。 ・入室後、おもちゃに夢中になる子がいたので、少し遊ばせてから読み聞かせしたら、絵本に集中してくれた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本よりおもちゃになりがちである。 ・中止の月がまだある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連休と重なる時は開催日をずらしたので、全開催をめざし、再びももずきんを定着させる。
ここのつまでの優しい性教育講座	<ul style="list-style-type: none"> ・性教育が生殖の性だけでなく人権やジェンダー、愛着、感情など人との関わりについて広く知るという理解から、日頃の子育てや自分自身への気付きになった。 ・保育付きなので、思い切って性の悩みを話せたり、子育ての中でも特に相談しづらい性の悩みを他の参加者とも共有共感できた。 ・ペアワークで行った伝え方の練習、紹介絵本の数・種類を豊富に用意していたのが好評だった。 ・以前ウイズアイを利用して今は就学児の保護者の利用にもつながった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1週目が土台編（愛着/同意/ジェンダー/感情） ・2週目が実践編（プライベートゾーン、二次性徴、性交妊娠出産の伝え方）という順番。 <p>参加者が聞きたい内容が後半になっているので、前半が伝わりづらいよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容が多岐にわたりすぎていたので、伝えたい内容をしぼり、参加者に伝わるよう構成を変更する。 	<p>対象：0～9歳までの幼児・児童の保護者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの「恥ずかしい」「汚い」「いやらしい」イメージのあった性教育ではなく、科学的・包括的な性教育の学び直しを行う。 ・愛着や同意など、性の土台となる関係性の学びから日頃の子育てに生かすてもらう。 ・ジェンダー役割としての母親の「べき」を見直すことで『自分らしさ』『その子らしさ』への気づきを促す。 ・幼児・低学年からの「自分の体は自分のもの」という感覚を親子で養うことで性被害・性加害防止を目指す。

赤ちゃん カフェ	<ul style="list-style-type: none"> ・来店された方同士、子育てについてや地域の情報など、お茶を飲みながらゆっくりおしゃべりして頂けた。 ・つどいのひろばや赤ちゃん講座、一時保育等の子育て事業を紹介することができた 	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦さんの参加が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠中からの切れ目ない支援をするためにも、プレママプレパパに来て頂けるように広報に力をいれる
きらきら 家族交流会 (医療的ケアと重度心身障がい児の家族交流会)	<ul style="list-style-type: none"> ・体調管理が難しいお子さん達なので、コロナ禍でもあり、広報はせずに今までの参加者を対象に実施した。3回の予定だったが、体調不良で欠席もあり、1回は中止。おしゃべり会とクリスマス会の2回実施した ・クリスマス会では、バルーンアートや弦楽器演奏、参加者によるトーンチャイム演奏等、楽しんで頂けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当初は未就学児を対象としていたが、開催初年度より参加のお子さんの半数が小学生となり、対象者も含め、内容や実施回数など、今後の方針について検討する必要がある。 ・医療ケアが必要なお子さんの参加もあり、安全に開催するために、協力して頂ける看護師の確保が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は参加者を募り、新規のメンバーを増やしたい
睡眠講座 (外部講師)	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットで色々な情報が得られる中、どの知識が正しいのか、個々に応じ、直接教えて頂いた点が参加者から好評だった。 ・赤ちゃんの睡眠や夜泣きに悩む保護者の方は多く、生活リズムの大切さや睡眠環境についてお話頂いた。 ・子育て中のママが講師のため、ご自身の経験談などお話し頂き、内容が具体的でわかりやすいと好評だった。 	参加者よりその時々のお子様の年齢・月齢のねんねの特徴や具体例について、もっと詳しく知りたいとの要望があった。	<ul style="list-style-type: none"> 年齢・月齢別に細かく分けた講座を開催できるよう検討したい。 ・赤ちゃん期間は日々、授乳、離乳食、お昼寝のタイミングが変化するため、ママたちの悩みはつきない。参加者のお子さんの月齢に応じて内容をどうするかを講師と相談していく

(5) 赤ちゃんのチカラプロジェクト事業

令和4年度成果	次年度への課題	今年度の目標
<p>受託9年目、市内小学校9校で、各学級2時間のプロジェクトを実施。0歳親子との交流は会議システムで「赤ちゃんひろば(つどいのひろば内0歳児企画)」を生中継した。</p> <p>学校との連携を密に、性教育との違いを明確にした上で児童の対応を共有できた。</p>	<p>スタッフが学校で行われている各学年の内容の把握すること、それに応じた対応をする。</p> <p>コロナ禍で参観が中止となっている場合が多く、保護者の皆さんに広く知っていただく機会が少ない。</p>	<p>全校5年生への移行を令和6年度に完了するため、一部の学校で2学年開催を実施する。</p> <p>学年の相違による学びの進度、学校との連携による児童への対応をより一層強める。</p> <p>保護者への情報提供に注力する。</p>

2) 補助事業 一時保育事業・24時間緊急一時保育事業

あ い あ い

令和4年度あいあい一時保育実績

	令和4年度	前年度
実利用者数	370	358
延べ利用者数	4238	4151
(うち土日祝)	1015	831
登録件数	325	164
相談件数		320

月別統計

	うち 初回 人数	一時 保育	月計	平日					土日祝				
				うち時間外			うち 緊急	計	うち時間外			うち 緊急	計
				9時 前	17時 以降	計			9時 前	17時 以降	計		
4月	117	334	334	24	48	72	0	238	20	48	61	0	96
5月	24	351	351	27	49	74	0	237	28	63	77	0	114
6月	40	387	387	28	75	99	8	294	14	44	57	3	93
7月	36	354	354	33	47	70	2	262	20	42	57	0	92
8月	17	225	225	18	31	44	6	160	12	31	36	0	65
9月	13	356	356	25	37	56	2	271	11	34	38	3	85
10月	31	377	377	33	36	55	6	283	12	38	48	4	94
11月	27	375	375	31	28	55	1	275	19	37	45	0	100
12月	19	390	390	25	30	50	9	318	11	39	41	3	72
1月	11	336	336	25	20	43	7	275	9	31	35	4	61
2月	9	337	337	22	26	44	0	269	10	27	34	0	68
3月	26	416	416	34	42	71	9	341	16	28	39	1	75
総計	370	4238	4238	325	469	733	50	3223	182	462	568	18	1015

あいあい 4238人のうち

緊急一時預かり対象児童 令和4年度 79人 令和3年度 53人

特別支援児童対象児童

令和4年度 障がい児 303人 令和3年度 障がい児 373人

令和4年度 多胎児 217人 令和3年度 多胎児 376人

年齢・理由別統計 あいあい(平日/土・日・祝日)

① 平日

年齢 保育理由	年齢						計
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳以上	
仕事	112	218	454	216	14	130	1144
育児疲れ	233	202	496	115	33	55	1134
その他	59	188	445	117	24	112	945
総計	404	608	1395	448	71	297	3223

② 土・日・祝日

年齢 保育理由	年齢						計
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳以上	
仕事	11	95	122	59	101	121	509
育児疲れ	47	49	52	40	49	22	259
その他	11	31	31	40	61	73	247
総計	69	175	205	139	211	216	1015

③ 合計(平日及び土・日・祝日)

年齢 保育理由	年齢						計
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳以上	
仕事	123	313	576	275	115	251	1653
育児疲れ	280	251	548	155	82	77	1393
その他	70	219	476	157	85	185	1192
総計	473	783	1600	587	282	513	4238

あいあいプレイルーム

(ひよこ)

4年度成果	次年度への課題	今後の目標
<ul style="list-style-type: none"> ・ルーティンを定めたことで、スムーズに生活出来るようになった。 ・リーダーへの注目ができるようになり、集団としてまとまりが出来た。 ・あひる組と一緒に部屋の遊びや散歩に行けた事で連携が取りやすく他児を気にする事なく気になる子に行けたりあひるの子達に刺激を受け遊びが広がったこともあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・帰りのお迎え時の対応時間確保。 ・日誌や制作物の準備時間の確保。 ・話し合いの時間の確保。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この3点を来年度は作れるようにしていきたい。

(あひる)

4 年度成果	次年度への課題	今後の目標
<ul style="list-style-type: none"> ・小集団での生活を通してコミュニケーション力や社会性の発達が見られた。 ・入所前は育児や我が子との生活に不安を感じていた保護者から、プレイルームに通う中で気持ちが前向きになり、育児が楽しくなったとの感想を頂いた。 ・1, 2 歳児の合同保育により、子ども同士が良い影響を与え合い、環境を通して自立、成長できた。大人も年齢や月例に捉われず、子どもの発達や興味を見つめるきっかけとなった。 ・質の良い玩具や木製棚を導入することができ、保育室内環境を大幅に改善することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・途中入所や、週 1 回の子が数人いたため、日課のペースを作りにくい場面があった。 ・近所の公園が、季節によっては蚊やカラスの発生・管理が不十分で安全に遊べない ・遊びに行く先の場所の確保 ・プレイルームの保育室をつどいの広場でも使用しているが、それを梅園つどいの広場の強みにしていけないか？ —例えば発達に沿った質の良い玩具や 子どもの遊びや生活に適した室内環境を、広場に来た保護者に知ってもらえるような情報発信など。 	<p>(あいあいプレイルーム全体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児期から自由な表現活動や感触遊びを取り入れる。 ・0 歳児保育のカタチづくり。 ・保育計画の書面化、保育の方向性や子ども理解を共有する。 ・プレイルームの保育ドキュメンテーション化の検討。 ・ウイズアイの様々な拠点、活動をしているスタッフとの情報共有。 ・絵本、わらべうた、製作、音楽や表現活動、環境設定などを共有したり学び合うシステム作り。

あいあい一時保育

4 年度成果	次年度への課題	今後の目標
<ul style="list-style-type: none"> ・一時保育利用から次年度のプレイルーム利用へ繋がった。 ・コロナ禍が落ち着き、学校・幼稚園行事等で、同じ日に重なる利用が増えたが丁寧に対応できた。 ・床のマットを張り替えて汚れが見えやすくなり衛生的で明るい部屋作りができスペースも広く感じられる環境ができた。 ・産前産後の上のお子さんの送迎付き保育や養育家庭のお子さんの保育等急な依頼も臨機応変に対応して保護者の方に喜ばれた。 ・保育園に入れなかったお子さんを保育園一時保育料金と同額にすることで定期預かりに繋がり保護者の方とスタッフでお子さんの成長を一緒に喜ぶことができた。 ・予約が混み合う時は定員以上をキャンセル待ちとし別紙に情報を書き、受け入れができる時は早め早めに連絡し一人でも多くのお子さんを預かれるように心がけた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日祭日、早朝、深夜、宿泊等の対応スタッフに限りがあり、できるスタッフに荷重がかかった ・予約漏れのミスがあり、確実に安心して受けられるようにしていく為の手立てを考えたい。 ・荷物等返却し忘れが多くあった ・24 時間 365 日対応のため利用者やスタッフの出入りも多く、衛生管理、美化整理整頓の保持が大変である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんを預ける不安を最小限にするために、個人登録時に、お子さんの普段の様子や、親御さんがどんな関わりをしているかを丁寧に聞く。 ・お子さんの素敵なおもちゃや頑張った様子を伝えて帰す・・・、丁寧にお子さんを観察し、お子さんの好きな事を見つけ、一緒に関わる時間を大切にする。 ・日曜日や祝日の利用は、幼児や小学生も入り、年齢に幅があり、小学生にも遊べるおもちゃやボードゲーム等の導入も考えていく。 <p>スタッフでより遊びを充実していくための研修を行い学ぶ時間を作っていく</p>

ひまわり

	うち初回人数	いきいき事業	独自事業	一時保育	月計
4月	39	3	0	196	199
5月	11	10	0	172	182
6月	12	6	0	238	244
7月	15	5	16	213	234
8月	2	0	0	192	192
9月	7	21	0	215	236
10月	5	20	0	231	251
11月	6	18	0	226	244
12月	8	0	0	203	203
1月	14	0	0	230	230
2月	11	13	16	245	274
3月	13	11	10	301	322
総計	143	107	42	2662	2811

令和4年度ひまわり一時保育実績（市内外）

ひまわり 2811 人のうち

緊急一時預かり対象児童 令和4年 88人 令和3年 25人

特別支援児童対象児童

障がい児 令和4年 262人 令和3年 248人

多胎児 令和4年 20人 令和3年 0人

年齢・理由別統計

年齢 保育理由	年齢						計
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳以上	
仕事	27	122	260	53	4	24	490
育児疲れ	85	268	269	115	5	24	766
その他	202	394	714	202	17	26	1555
総計	314	784	1243	370	26	74	2811

ひまわりプレイルーム

(けやき)

令和4年度成果	次年度への課題	今後の目標
支援が必要なお子さんへ支援計画を立て、保育士同士連携をとりながら保育ができ、日々の成長や家庭での様子を共有することができた。一人一人の個性を大切にしながら関わっ	さくら組へ継続はせずに、幼稚園のプレや継続しても満3歳児クラスに行くまで通所する家庭が多い。	幼稚園のプレという大きな集団で困ることなく生活できるのかどうか、ひまわりプレイルームでの丁寧な関わりが必要である。一人一人の様子に

<p>たことで、保育士との信頼関係を築くことができた。後半は対大人から、友だちと一緒に遊ぶ楽しさへと広がり、集団遊びを楽しむ姿が多くなった。</p>		<p>応じて、保護者と連携を取り、進路を考えたり相談できる場となる必要がある。</p>
--	--	---

(さくら)

令和4年度成果	次年度への課題	今後の目標
<p>日々のルーティンを分かりやすく伝えたり、顔写真を用いて他児にも興味が出るような働きかけを心掛け、発語が不明瞭で衝動的だった子が他児を見て行動出来たり、自分の気持ちを伝えられるくらいまでの成長がみられた。人数は少なくなったが、その分厚く保育ができた。また、散歩も少し遠くへ足をのばし、そこで体を十分に使って遊ぶこともできた。</p>	<p>課題としてはあまりにも人数が少ない日もあり、小集団とは呼べない状況だったので、人数の確保や、その都度携わるスタッフの不安定さがあげられる。ひとりひとり子どもの性格によって手厚い保育を希望して、選んでくれる保護者もいるので、引き続きプレイルームの周知が必要といえる。</p>	<p>(ひまわりプレイルーム全体) 目標としては、安全に事故なくはもちろんのこと、保育士同士のクラス方針や、気になる子への対応の共通認識の共有。また、子ども自身が自分の体の使い方を知る上でも大人の必要最低限の介助法などの研修(上木原さん)を受けると良いなと感じる。その他、認可外保育施設等利用支援支援制度を周知する</p>

ひまわり一時保育

4年度成果	次年度への課題	今後の目標
<ul style="list-style-type: none"> ・利用時間 8:30~17:30 が広く定着したことにより、在宅主婦の育児不安の軽減や就労、スキルアップ等様々な理由の方に貢献できた。 ・一時保育利用者から次年度のプレイルーム利用者へ繋がった。 ・市外からの依頼も丁寧に対応し、希望する保育にそえる様にスタッフで協力し合った。 ・何度も利用される子ども達になるべく同じスタッフが対応出来るよう調整し、1年を通じて子ども達の成長を保護者と喜ぶことが出来た。 ・急な保育依頼も臨機応変に対応し、断ることなく安全に事故なく保育が出来た。 ・床のマットを張り替え、衛生的で明るいお部屋作りが出来た。 	<p>【保育者手配について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一度に沢山の予約を入れて行かれる利用者が、予約を忘れて来ない事が多かった ・子どもを預ける際、予約時間と保育カードの時間が違っている場合が何度かあった。 <p>【環境整備について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館内は人の出入りが多く、保育室の前まで入ってきたりしてしまう人がいた。 ・元気なお子さんが廊下に飛び出してしまいそうになる事があった。 	<p>【保育者手配について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数日予約が入っている利用者には必ず次回の予約日と時間を確認する。 ・保育の予約時間と保育カードを確認する。 <p>【環境整備について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入口にローゲージを付ける等工夫していく <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より良い保育、家庭支援が出来るよう利用者への声かけを増やし、細かい現状把握が出来るようにする。 ・前年度と同様、子どもの成長を保護者と喜び、安心・安全・事故のない保育を行いたい。

下宿どんぐり

令和4年度どんぐり一時保育実績

	令和4年度	前年度
実利用者数	73	75
延べ利用者数	672	402
登録件数	86	17

月別統計

	市内・市外預かり件数	
	実人数	一時保育
4月	21	46
5月	8	33
6月	7	53
7月	5	55
8月	4	45
9月	2	38
10月	2	45
11月	0	38
12月	7	54
1月	5	53
2月	5	91
3月	7	121
総計	73	672

どんぐり

緊急一時預かり対象児童 0人
 特別支援児童対象児童
 障がい児 5人 多胎児 2人

年齢・理由別統計

年齢 保育理由	年齢						計
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳以上	
仕事	28	44	29	8	2	7	118
育児疲れ	13	97	191	1	0	4	306
その他	28	110	57	32	10	11	248
総計	69	251	277	41	12	22	672

どんぐりルーム一時保育

4年度成果	次年度への課題	今後の目標
<ul style="list-style-type: none"> ・少人数の為、個々に合わせた対応ができた。 ・つどいの広場の利用者が、どんぐりルームを知り、すぐに見学できる事で徐々に利用者が増えた。 ・午後起きている子は、つどいの広場で安心安全に楽しく遊び過ごせた。 ・今年度は定期を設けなかったが、秋から決まった曜日に利用する方が増え、回を重ねるごとに仲間意識も深まり、楽しく遊び過ごすことが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育児が増えた時、保育士やスタッフが休みの時の保育者の補充の確保 ・緊急の場合の受け入れ方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・初めての方が利用しやすいような工夫の提案 ・下宿市民センター利用の方の保育場所として利用しやすいように働きかけていく

3) 助成事業

独立行政法人 福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

WAM 助成 令和3年度補正予算事業 (令和4年度実施)

※詳細は別冊の事業報告書をご参照ください。

【総事業費】 7,922,945 円 助成額 7,000,000 円

【事業名】 若者の社会的孤立を防ぎ、地域の大人が連携して見守る自立応援事業

柱立て 1: 相談支援の充実【既存事業の拡充】
(月)(火)(木)9:30-15:00 小中学生不登校および若者の居場所として開所 開所日数: 133日 利用者数: のべ 300人 問合せ: 14件 見学・来客: 20人 他施設訪問: 117人 (配布等含む) 登校支援: 48件 (送 27 迎 21) 送迎: 50件 (送 31 迎 19) 外出: 36回 保護者面談: 11回 学生ボランティアによる 活動: 11回 見学・研修: 5回
柱立て 2: 10代、20代の自立応援事業【既存事業の拡充】
【住居確保・食の確保・権利擁護・就労支援・生活支援】 <対応総数 148件> 宿泊利用: 23回 就労支援: 40回 同行支援: 23回 *登校支援、送迎は含まず SOS、相談対応: 50回 医療機関・行政とのケース会議: 7回 アウトリーチ、訪問: 5件
柱立て 3: 児童養護施設を退所後の母子のネットワークづくり【新たな取り組み】
隔月奇数月 年間実施 5回 参加のべ: 14人 保育児: 10人
柱立て 4: 地域における包括的支援体制の推進【既存の取り組み】
(1) -1 事例検討会 (支援計画会議): 18回 (2ケース/回) のべ 108人 (1) -2 ミーティング: 10回のべ 60人 (1) -3 勉強会: 10回 のべ 30人 (2) -1 親の会: 10回 のべ 32人 (実数 10) (2) -2 親父の会: 4回 のべ 10人 (お父さん) (実数 4) イベント参加の合計 33人 (3) -1 支援者連絡会: 6回 参加 6団体 のべ 57人参加 (実数新規 10) (3) -2 不登校を考える 3回シリーズ講演会 第1回 「当事者の話を聞く会」 26人 第2回 講演会「不登校臨床の再構築を目指して」 34人 第3回 シンポジウム「地域で支えるために」 45人 合計 105人

【成果】

「つなげる支援」をテーマに掲げることで、スタッフが目的を明確に持ち共有することができた。保護者との関係構築を大切に、地域の連携を密にすることに務め、より多くの選択肢を提供できた。特に本年度は、広報誌の配布を「ご家庭」⇒「学校教職員全員」にすることで、教職員への周知が進み、紹介につながった。地域連携の一つとして「支援者連絡会」を立ち上げ、また多くの方が参加できる学びの場として、3回シリーズ講演会を開催した。

【課題】

学校に行くことをゴールとしない、過ごせる「居場所」が求められる中、ウイズアイの居場所の継続的な運営を、人的物的支援の確保と地域連携から可能にするシステム構築を実現する。

キューピーみらいたまご財団助成プログラムA「食育活動」

【総事業費】1,722,657円 助成額1,000,000円

【事業名】多様化する子育て家庭の生活支援 ～食を通しての応援事業～

【事業の柱立て】

柱立て1 ママの家事力アップ「クッキング講座」

- ・自らの困難に寄り添い、引きこもりがちな母親を対象に、家事力を高めるクッキング講座の定期開催。ファシリテーターが入り、同じ悩みを抱える方同士の交流の場を作り、ネットワークを構築する。

柱立て2 若者の自立応援「食育講座」

- ・様々な困難に直面している若者の自立を目的に、生活の基本となるバランスの良い食事や家庭料理を学ぶ講座を定期開催する。ヤングケアラー同士の交流を促進し、ピアサポーター育成の足掛かりとする。

【成果】

1) 病気や精神疾患を抱え、子育て中の方 ママの家事力アップクッキング講座

※目標：実施回数24回延べ96人 【実績】 27回、延べ57人：回数113%、人数59%

- 何らかの疾患を持ちながら子育てに奮闘しておられるママ達が、料理を通じて交流を図れたことは、今後の子育てにも大いに役立つ。特にファシリテーターが入り、お互いの状況・環境を知っていく中で、相互理解を深め、自助グループ育成に寄与できたと思う。今後は、子ども同士の交流を図る場をつくり、ヤングケアラー及び予備軍のピアサポーター育成に繋げたい。
- 各ご家庭での家事負担の軽減を図るため、実習したおかずはお持ち帰りいただくよう配慮した。メニュー構成は家庭料理2品（主菜・副菜）を基本とした。
- 精神疾患をお持ちの方々にとって、指定の日時に来所することは並大抵のことではなく、日頃の暮らしにくさに触れたように思う。そのような状況下、参加して下さった方々に感謝すると共に、今後も同じ地域で生活する者として、寄り添っていきたく強く思う。

2) ヤングケアラー、ケアリーバー 若者の自立応援 食育講座 1回/月×12か月

※目標：実施回数12回、延べ48人 【実績】 25回、延べ94人：回数208%、人数288%

- ヤングケアラー/中高生12回25人（対象比26.6%）、小学生7回50人（対象比53.2%）
- ヤングケアラー予備軍/未就学児6回19人（対象比20.2%）
- 少人数ながら、継続して同じ顔触れが集まることで、同世代での交流が増えたことをとても嬉しく思う。自宅に引きこもりがちだった高校生が同世代と料理する機会を持ったことで、定期的に外に出られるようになり、ボランティア大学生と「若者の居場所」に通えるようになった。
- 料理を作りながらコミュニケーションを図る中で、ご家族のことや進路の悩み、アルバイト生活の不安などを話してくれる高校生に対し、早期に必要な支援に繋げるなど、課題解決に向かえうことができた。
- 児童養護施設で生活する高校生が複数参加し、楽しそうに取り組む姿が印象に残る。また中学時代から「お菓子作りの会」に参加していた現高校生が、お菓子コンテスト(日清製粉主催)に出場し、高評価を得ることができ、喜びを分かち合えた。
- ヤングケアラー予備軍と考えられる未就学児～小学校低学年を対象に「おやつ作り」を行い、料理の楽しさ・面白さに触れる場を設けた。近い将来、各々が関わる家事(特に料理)を少しでも「プラスの意識」で取り組める“お手伝い”になるよう、心から願っている。

【課題】

- ・本事業について、他の講座に参加した際にスタッフに勧められた参加者も多かったことから、他事業に関わるスタッフへの周知を図り、情報共有の場を持ち、今後の参加者拡大を目指したい。
- ・『家庭で料理を学んでこなかった』と認識しておられる方々は、特に料理に対する苦手意識を持っており、自信の無さが離乳食の実践に大きく関与していると感じた。コロナ禍を踏まえ、安心して参加できる食育講座を模索し、多様化するニーズに応えていきたい。

東京都子供の食の確保 交付金 (対象：ひとり親家庭)

【総事業費】 414,087 円 補助対象額 317,000 円 収入実績額 40,400 円

【実績】

- ・実施回数 24 回、延べ 285 件 (0 歳～17 歳の児童 延べ 142 人、児童の保護者 延べ 69 人、他 74 人)
- ・宅配人数 延べ 127 人 (0 歳～17 歳の児童 延べ 81 人、児童の保護者 延べ 46 人)

【成果】

- ・開始から 5 年目となり、当初より一貫して、親子共に安心して食事が出来る場、食事作りの負担感を軽減し、日頃の疲れを癒す場の提供が出来たと思料する。また、コロナにより中断していた学生ボランティアが復活した。

【課題】

- ・初期から利用されているお子さんの成長に伴って利用頻度が減る等、利用者の世代交代が進みつつある。新規利用者の掘り起こしが必要である。
- ・お子さんの多い利用者にとっては、利用料が負担になるとも考えられる。

【目標】

- ・ヤングケアラーの担い手や、シングルファザーのご家庭等にもアンテナを張り新規利用者を増やす。
- ・利用料を「1 家庭 1 コイン」とし、より利用しやすい食堂を目指す。

清瀬市対象児童等見守り強化事業

【総事業費】 11,438,475 円 助成額 9,723,000 円

【事業名】 地域のネットワークと団体内部を横断した取り組み

【事業の柱立て】

柱立て 1 : 子ども等の状況の把握

柱立て 2 : 食事の提供 (配達等を含む)

柱立て 3 : 基本的な生活習慣の習得支援や生活指導

柱立て 4 : 学習習慣の定着等の学習支援

【実績】

- ・あいあい一時保育 65 世帯 (実数 102 人、延べ 1298 人)、お泊り保育 7 泊
- ・あいあい送迎 (実数 22 人、延べ 225 人)
- ・あいあい食事 (実数 14 人、延べ 203 人)
- ・りんりん母子シェルター 3 世帯 (実数 13 人、延べ 254 人)、延べ 254 日
- ・緊急一時保育件数 (あいあい : 79 件、ひまわり : 84 件)

【成果】

- ・専任スタッフを配置し、団体が運営する 3 拠点の一時保育事業、つどいのひろば事業、不登校の子どもの居場所事業など、多方面からアプローチ可能な体制を整え、乳児から若年層まで見守る機会の減少抑止

を図った。

・養育支援ヘルパー事業と連動し、母親の体調不良や病気の時、また妊娠・出産時の一時保育のニーズが増加した。特に新生児から一時預かりが可能のため、母子の課題を早期に発見・介入することが可能となった。

・土日祝、時間外の一時的保育利用者が増加傾向にある。その理由の60%以上は仕事のためであり、親御さんの多様な働き方に対応できたと考える。

・夫からの精神的及び肉体的暴力から逃げ、生活のやり直しを望む母親(または母子)のため、安全安心に過ごせる場を提供し、生活及び相談支援を行うことができた。

【課題】

・資金の確保。今後は民間助成金などの申請を視野に入れ、事業の継続を図りたい。

令和4年度東京都ヤングケアラー相談支援等補助事業

【総事業費】 9,754,697円 補助額 9,152,000円

【事業名】 ヤングケアラーに寄り添う伴走型支援 一人じゃないよ。そんなに頑張らなくていいんだよ
柱立て1 ピアサポート等相談支援事業
柱立て2 生活支援ヘルパーの派遣事業・

【実績】

- 1) 子どもの居場所やシングル家庭の親子食堂(当団体主催)を活用した相談支援
※令和4年8月～令和5年3月 毎月第1・第3(土) 8か月×月2回=16回 相談件数20件
- 2) 電話・Lineを活用した24時間相談支援 ※随時対応
- 3) 専任コーディネーターによる定期的なアウトリーチ
※月4回×3か月(10月-12月)=12回, 月8回×3か月(1月-3月)=24回 ※12+24=36回
※お惣菜の宅配サービスを活用した訪問 延べ29回, 対象家庭実数28世帯, 延べ212件
- 4) 「ヤングケアラーの理解と支援の在り方を深める講演会」の開催 ※2回
※一般社団法人ケアラーアクションネットワーク協会 代表 持田 恭子氏
「家族のケアをする子どもや若者たち、ヤングケアラーを知っていますか？」 参加者数:延べ55名
※令和5年2月18日(土) 精神疾患を持つ親の会 こどもぴあ 代表 坂本 拓氏, 小林 鮎奈氏
「精神疾患の親を持つ子どもの立場から見たもの」 参加者数:延べ28人
- 5) ピアサポーターの発掘・育成を目的とした自助グループの育成、ネットワークづくり
※『子どもらしい子ども時代・楽しい学生時代を送りたかったママの会』
※年間3回:目標参加人数 延べ12名 実績11名 ⇒ ピアサポーター発掘目標:3名 実績3名
- 6) ヤングケアラーのレスパイトを目的とした宿泊(お泊り事業) ※3世帯 実数3名 延べ7回
- 7) 家事支援ヘルパーの派遣事業(通院時の同行支援6件を含む)
※家事・生活支援ヘルパーの派遣実績 実数5世帯、延べ46件、ヘルパー延べ(10人)
- 8) 人材育成研修の開催(12月、1月) ※「訪問支援者基礎研修」 参加者:延べ77人
(内訳) 第1回:令和4年12月5日(月)、12月12日(月) 参加者:延べ38人
第2回:令和5年1月16日(月)、1月23日(月)、1月31日(火) 参加者:延べ39人

9) 生活支援訪問ヘルパー 研修（振り返り及び事例検討，次年度に向けた取り組み）

※参加者：延べ 30 人 第 1 回（3/23）参加者：14 人 ， 第 2 回（3/31）参加者：16 人

【成果】

- ・生活している地域で、繋がりのある大人に気軽に相談できたことは、子ども達にとって大変心強く、速やかな支援に繋げることができた。
- ・関わった子ども達は、本事業における多世代交流や地域の繋がりへの心地よさを実感するとともに、これまでの消化されなかった思いの払拭にも効果があったと考える。特に、対象の高校生が中学生をフォローする姿も見受けられ、ピアサポーター育成の一助となった。
- ・家事支援ヘルパーの派遣については、生活する地域で人材を育成することは、各家庭の急な困りごとや多様化するニーズに細やかに応え、生活する地域の支援者は細やかな対応が期待できる。

【課題】

- ・ピアサポーターの自助グループ育成については、当団体通信紙「あいあい通信」及び SNS による広報を行ったが、集客が厳しく、自助グループの育成には至らなかった。次年度は周知・広報を工夫し、自助グループを育成したい。
- ・不登校の子どもが多く、子どもの情報を学校と共有し、子どもの居場所を広げる取り組みも行いたい。
- ・家事支援は子どもの負担軽減となっており、家事の技術を子どもへ伝達する機会になっている反面、依存心を助長しているのではないか？という懸念もある。

第2号議案 令和4年度収支決算報告及び監査報告

特定非営利活動法人ウイズアイ
全事業所

[税込] (単位:円)
令和5年3月31日 現在

資 産 の 部			
科 目	当年度	前年度	増減
【流動資産】			
(現金・預金)			
現 金	863,866	2,669,835	△ 1,805,969
預 金	49,362,260	53,369,939	△ 4,007,679
現金・預金 計	50,226,126	56,039,774	△ 5,813,648
(売上債権)			
未 収 金	22,674,288	12,903,462	9,770,826
売上債権 計	22,674,288	12,903,462	9,770,826
(その他流動資産)			
前払 費用	156,524	99,524	57,000
仮 払 金			0
その他流動資産 計	156,524	99,524	57,000
流動資産合計	73,056,938	69,042,760	4,014,178
【固定資産】			
(有形固定資産)			
什器 備品	1,304,000	1,304,000	0
減価償却累計額	△ 1,303,999	△ 1,303,999	0
建物付属設備	1,436,432	1,436,432	0
建物減価償却累計額	△ 790,031	△ 646,389	△ 143,642
有形固定資産 計	646,402	790,044	△ 143,642
(投資その他の資産)			
敷 金	435,000	435,000	0
投資その他の資産 計	435,000	435,000	0
固定資産合計	1,081,402	1,225,044	△ 143,642
資産合計	74,138,340	70,267,804	3,870,536

負 債 ・ 正 味 財 産 の 部			
科 目	当年度	前年度	31
【流動負債】			
未 払 金	13,899,492	13,200,000	△ 699,492
預 り 金	485,581	645,132	159,551
流動負債 計	14,385,073	13,845,132	△ 539,941
【固定負債】			
撤去費用等引当金	1,980,000	1,620,000	△ 360,000
固定負債 計	1,980,000	1,620,000	△ 360,000
負債合計	16,365,073	15,465,132	△ 899,941
正 味 財 産 の 部			
【正味財産】			
前期繰越正味財産額	54,802,672	48,328,264	△ 6,474,408
当期正味財産増減額	2,970,595	6,474,408	3,503,813
正味財産 計	57,773,267	54,802,672	△ 2,970,595
正味財産合計	57,773,267	54,802,672	△ 2,970,595
負債及び正味財産合計	74,138,340	70,267,804	△ 3,870,536

令和4年度会計及び業務監査報告

私達監事は、令和4年度の特定非営利活動法人ウイズアイの業務処理、及び経理処理などについて監査をしたところ、適正におこなわれていることを確認しましたので報告致します。

令和5年5月31日

監事 佐々木 由美

監事 上木原 瞳

活 動 計 算 書

[税込] (単位: 円)

特定非営利活動法人ウイズアイ

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

	当年度	前年度	
【経常収益】			
【受取会費】	546,000	584,000	▲ 38,000
正会員受取会費	546,000	584,000	▲ 38,000
賛助会員受取会費			0
			0
【受取寄付金】	926,626	1,851,972	▲ 925,346
受取寄付金	926,626	1,851,972	▲ 925,346
従業員寄付	0	0	0
【受取助成金等】	114,057,070	102,798,347	11,258,723
清瀬市受諾事業	15,564,840	15,019,348	545,492
清瀬市補助事業 (一時保育)	30,780,200	26,000,000	4,780,200
清瀬市補助事業 (独自・子供見守)	10,040,000	10,014,162	25,838
小規模保育事業	39,401,230	38,811,320	589,910
福祉医療機構助成金・事業収入	7,064,300	7,025,000	39,300
未来応援ネットワーク助成金		3,000,000	▲ 3,000,000
未来応援ネットワーク事業収入		13	▲ 13
キューピー助成金・事業収入	1,054,500	1,072,504	▲ 18,004
子供が輝く東京事業収入・助成金		1,856,000	▲ 1,856,000
その他助成金・補助金	10,152,000	0	10,152,000
【事業収益】	21,548,033	19,559,012	1,989,021
子育て支援事業	19,888,364	18,555,112	1,333,252
子育てに関する普及啓発講座	542,850	470,900	71,950
子育て支援団体とのネットワーク	171,200	100,000	71,200
子育てに関する調査・研究事業	314,722	96,000	218,722
独自事業収益	630,897	337,000	293,897
講師派遣収入			0
			0
【その他収益】	3,525,399	2,972,229	553,170
受取 利息	229	141	88
行事参加費等収入	106,400	130,800	▲ 24,400
雑 収 益	3,418,770	2,815,988	602,782
職員給食費		25,300	▲ 25,300
経常収益 計	140,603,128	127,765,560	12,837,568
【経常費用】			
【事業費】			
(人件費)	90,014,076	77,591,032	12,423,044
子育て支援・交流事業	90,014,076	77,591,032	12,423,044
独自事業			0
講師派遣人件費			0
(民間助成金事業経費)	8,969,031	11,667,176	▲ 2,698,145
未来応援ネットワーク経費		3,000,013	▲ 3,000,013
子供が輝く東京事業経費			0
キューピーその他経費	1,381,457	1,071,179	310,278
福祉医療経費	7,587,574	7,595,984	
その他助成金経費			0
(その他経費)	18,698,817	14,342,554	4,356,263
バザー経費			0
業務委託費	800,660	1,266,000	▲ 465,340
諸 謝 金	1,096,180	253,410	842,770
印刷製本費(事業)	291,192	245,252	45,940
会 議 費(事業)	23,703	31,685	▲ 7,982
旅費交通費(事業)	149,152	25,868	123,284
車 両 費(事業)	157,090	99,332	
通信運搬費(事業)	700,925	419,742	281,183

消耗品 費(事業)	5,017,583	3,023,013	1,994,570
食 材 費(事業)	1,187,389	524,400	662,989
修 繕 費(事業)	1,045,275	595,953	449,322
水道光熱費(事業)	1,635,672	1,086,690	548,982
地代 家賃(事業)	4,510,277	4,205,530	304,747
賃 借 料(事業)	569,870	429,720	140,150
保健衛生費	341,182	646,037	▲ 304,855
保 險 料(事業)	853,523	503,160	350,363
諸 会 費(事業)	16,000	16,000	0
租税 公課(事業)	19,350	7,600	11,750
研 修 費	64,788	777,632	▲ 712,844
支払手数料(事業)	172,385	152,640	19,745
支払寄付金		5,500	▲ 5,500
雑 費(事業)	46,621	27,390	19,231
			0
事業費 計	117,681,924	103,600,762	14,081,162
【管理費】			
(人件費)	17,048,912	15,259,438	1,789,474
給料 手当	5,756,199	5,632,373	123,826
役員 報酬	3,000,000	2,400,000	600,000
一時 支給			0
法定福利費	8,155,298	7,082,119	1,073,179
福利厚生費	137,415	144,946	▲ 7,531
			0
(その他経費)	2,901,697	2,468,162	433,535
印刷製本費			0
会 議 費			0
旅費交通費			0
通信運搬費	240,120	300,484	▲ 60,364
消耗 品費	31,345	5,002	26,343
修 繕 費			0
水道光熱費			0
地代 家賃			0
広告宣伝費	121,000	143,000	▲ 22,000
接待交際費		5,142	▲ 5,142
新聞図書費	78,388	15,418	62,970
減価償却費	143,642	143,642	0
保 險 料	26,093	112,080	▲ 85,987
諸 会 費	2,400		2,400
慶 弔 費	30,000	35,104	▲ 5,104
リース 料	1,095,600	1,095,600	0
租税 公課	12,600	2,900	9,700
支払報酬料	760,509	249,790	510,719
撤去費用等引当金繰入	360,000	360,000	0
			0
管理費 計	19,950,609	17,727,600	2,223,009
経常費用 計	137,632,533	121,328,362	16,304,171
当期経常増減額	2,970,595	6,437,198	▲ 3,466,603
【経常外収益】			
過年度損益修正益		37,210	▲ 37,210
経常外収益 計	0	37,210	▲ 37,210
【経常外費用】			
過年度損益修正損			0
			0
経常外費用 計	0	0	0
当期正味財産増減額	2,970,595	6,474,408	▲ 3,503,813
当期正味財産増減額	2,970,595	6,474,408	▲ 3,503,813
前期繰越正味財産額	54,802,672	48,328,264	6,474,408
次期繰越正味財産額	57,773,267	54,802,672	2,970,595

第3号議案 令和5年度事業計画(案)について

1. 事業遂行と団体の基盤作り

- ・ガバナンス・コンプライアンス体制整備
- ・団体理念の見直し
- ・働きやすい職場づくり
- ・国家資格取得を応援する仕組みづくり
- ・利用者ニーズに即対応する姿勢を維持する
- ・研修受講を推奨し、保育の質向上、支援者の意識改革、人材育成を進める
- ・親支援ファシリテーターと養育支援ヘルパーの育成
- ・団体全体で保育や事業の在り方を考える「プロジェクト」を発足し、自主的な運営ができる体制作り

2. 広報の充実

- ・ホームページのリニューアル
- ・LINE 公式アカウントの導入
- ・Facebook や Instagram など、SNS による情報発信
- ・ZOOM の活用
- ・小規模保育園「あいあいちびっこルーム」、Instagram 開始

3. 行政との連携

- ・子ども家庭支援センター並びに子育て支援課 母子保健の職員との連携
(事業説明会の場を作っていた)
- ・行政関係者と定期的なカンファレンスやミーティングを開催していただく。
- ・第一子の親子がもれなく新米ママと赤ちゃんの会に参加できるシステムづくりを目指す。

4. 安心して暮らせるための地域共生社会の実現に向けて事業を拡大・発展

- ・地域の力を引き出し、地域みんなで子育て！を具体化する、つなげる・つながるの仕組みづくりを考え実践。

1) ヤングケアラー事業に取り組み、ケアする人を支える仕組み作りと地域の多様なニーズに応える生活支援訪問支援者の育成と宅配お惣菜の拡大・ヤングケアラー啓発事業の充実
個別支援計画を立て、具体的に定期的な支援が出来るような体制を作っていく

2) 若者が安心して暮らせる社会の実現～不登校児や若者支援の充実～
不登校児の居場所づくりや親の会・親父の会によるネットワークづくり
支援者のネットワークの拡大

3) 養育困難家庭や産前産後支援の充実

- ・お弁当やお惣菜宅配サービス・一時保育サービス・送迎サービス等
- ・要支援家庭の産後ディケアを拡充するとともに、ニーズに沿える新たな受け皿を生み出し、取り組んでいく。
- ・第1子、第2子の別に関わらず、通常よりも大きな育児不安感が伴う家庭や年子・多胎児家庭、発達が気になる子を育てている家庭等への経済的支援(4時間無料チケットの発行)

- ・母子シェルターの役割、子ども達の環境を変えずに生活できるよう支援
- ・シングル家庭の小学生以上のお子さんの宿泊体験

4) 医療的ケアと重度心身障がい児の家族交流会の定期開催によりネットワークの拡大

- ・月に一回、医療的ケア&重度心身障がい児の家族交流会を開催し、ネットワークを発展させる。安心して一時保育を利用していただけるとような関係を作り、親のレスパイトに寄与する。

5. 妊娠期からの切れ目のない支援（ウイズアイ独自のネウボラ事業）の充実

・食育の充実

1) 食に対する意識を高める

- ・調理体験を増やす・料理のコツを学ぶ
(ジュニアクッキングや離乳食講座の開催)
- ・食の基本を学ぶ

・おんぶでクッキング～ママカフェ Ver～

2) 食育を通じた仲間作り・自助グループの育成

- ・引きこもりママのクッキング
- ・実家の無いママの会

3) パパ参加の事業の拡大

- ・ママの病気を支えたパパの会
- ・多胎児を育てているパパの会
- ・パパクッキング

第4号議案 令和5年度収支予算(案)について

[税込] (単位: 円)

特定非営利活動法人ウイズアイ

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

	当年度予算額	前年度決算額	
【経常収益】			
【受取会費】	600,000	546,000	54,000
正会員受取会費	600,000	546,000	54,000
賛助会員受取会費	0	0	0
【受取寄付金】	1,500,000	926,626	573,374
受取寄付金	1,500,000	926,626	573,374
従業員寄付	0	0	0
【受取助成金等】	102,880,200	114,057,070	▲ 11,176,870
清瀬市受諾事業	16,100,000	15,564,840	535,160
清瀬市補助事業(一時保育)	30,780,200	30,780,200	0
清瀬市補助事業(独自・子供見守り)	5,000,000	10,040,000	▲ 5,040,000
小規模保育事業	41,000,000	39,401,230	1,598,770
福祉医療機構助成金・事業収入	0	7,064,300	▲ 7,064,300
休眠口座活用事業助成金	10,000,000	0	10,000,000
キューピー助成金・事業収入	0	1,054,500	▲ 1,054,500
子供が輝く東京事業収入・助成金	0	0	0
その他助成金・補助金	0	10,152,000	▲ 10,152,000
【事業収益】	22,000,000	21,548,033	451,967
子育て支援事業	20,000,000	19,888,364	111,636
子育てに関する普及啓発講座	700,000	542,850	157,150
子育て支援団体とのネットワーク	180,000	171,200	8,800
子育てに関する調査・研究事業	320,000	314,722	5,278
独自事業収益	800,000	630,897	169,103
講師派遣収入	0	0	0
講師派遣収入	0	0	0
【その他収益】	210,229	3,525,399	▲ 3,315,170
受取利息	229	229	0
行事参加費等収入	110,000	106,400	3,600
雑収益	100,000	3,418,770	▲ 3,318,770
職員給食費	0	0	0
経常収益計	127,190,429	140,603,128	▲ 13,412,699
【経常費用】			
【事業費】			
(人件費)	83,000,000	90,014,076	▲ 7,014,076
子育て支援・交流事業	83,000,000	90,014,076	▲ 7,014,076
講師派遣人件費	0	0	0
(民間助成金事業経費)	10,000,000	8,969,031	1,030,969
休眠口座活用事業経費	10,000,000	0	10,000,000
子供が輝く東京事業経費	0	0	0
キューピーその他経費	0	1,381,457	
福祉医療経費	0	7,587,574	
その他助成金経費	0	0	
(その他経費)	13,090,000	18,698,817	▲ 5,608,817
バザー経費	0	0	0
業務委託費	400,000	800,660	▲ 400,660
諸謝金	250,000	1,096,180	▲ 846,180
印刷製本費(事業)	200,000	291,192	▲ 91,192
会議費(事業)	30,000	23,703	6,297
旅費交通費(事業)	150,000	149,152	848
車両費(事業)	150,000	157,090	▲ 7,090

通信運搬費(事業)	700,000	700,925	▲ 925
消耗品費(事業)	2,000,000	5,017,583	▲ 3,017,583
食材費(事業)	1,000,000	1,187,389	▲ 187,389
修繕費(事業)	100,000	1,045,275	▲ 945,275
水道光熱費(事業)	1,600,000	1,635,672	▲ 35,672
地代家賃(事業)	4,500,000	4,510,277	▲ 10,277
賃借料(事業)	500,000	569,870	▲ 69,870
保健衛生費	350,000	341,182	8,818
保険料(事業)	860,000	853,523	6,477
諸会費(事業)	20,000	16,000	4,000
租税公課(事業)	20,000	19,350	650
研修費	100,000	64,788	35,212
支払手数料(事業)	150,000	172,385	▲ 22,385
支払寄付金	0	0	0
雑費(事業)	10,000	46,621	▲ 36,621
			0
事業費計	106,090,000	117,681,924	▲ 11,591,924
【管理費】			
(人件費)	15,540,000	17,048,912	▲ 1,508,912
給料手当	6,000,000	5,756,199	243,801
理事報酬	1,200,000	3,000,000	▲ 1,800,000
支払報酬		0	0
法定福利費	8,200,000	8,155,298	44,702
福利厚生費	140,000	137,415	2,585
			0
(その他経費)	2,484,242	2,901,697	▲ 417,455
印刷製本日		0	0
会議費		0	0
旅費交通費		0	0
通信運搬費	240,000	240,120	▲ 120
消耗品費	15,000	31,345	▲ 16,345
修繕費		0	0
水道光熱費		0	0
地代家賃		0	0
広告宣伝費	100,000	121,000	▲ 21,000
接待交際費	0	0	0
新聞図書費	15,000	78,388	▲ 63,388
減価償却費	143,642	143,642	0
保険料	0	26,093	▲ 26,093
諸会費	2,400	2,400	0
慶弔費	20,000	30,000	▲ 10,000
リース料	1,095,600	1,095,600	0
租税公課	12,600	12,600	0
支払報酬料	480,000	760,509	▲ 280,509
撤去費用等引当金繰入	360,000	360,000	0
管理費計	18,024,242	19,950,609	▲ 1,926,367
経常費用計	124,114,242	137,632,533	▲ 13,518,291
当期経常増減額	3,076,187	2,970,595	105,592
【経常外収益】			
過年度損益修正益		0	0
経常外収益計	0	0	0
【経常外費用】			
過年度損益修正損		0	0
			0
経常外費用計	0	0	0
当期正味財産増減額	3,076,187	2,970,595	105,592
当期正味財産増減額	3,076,187	2,970,595	105,592
前期繰越正味財産額	54,802,672	54,802,672	0
次期繰越正味財産額	57,878,859	57,773,267	105,592

第5号議案 役員改選案

理事退任	吉松 治任 (理事長)
	船村 朝代 (副理事長)
	高宮 浩二
	野村 由佳
理事新任	後藤 和之
	伊藤 純子
理事再任	西田 由美子 (副理事長)
	鳥山 直哉
	遠藤 みどり
	増田 恵美子
	和賀 未青
	松本 なづな
監事	佐々木 由美
	上木原 瞳

参考資料

2022年・ウイズアイ・8大トピックス

1. 小規模保育所あいあいちびっこルーム…独自で第三者評価を受け高評価、
余剰活用型の一時保育の受入開始
2. ふわっとん「妊婦さんと赤ちゃんカフェ」オープン
3. 厚生労働省 令和4年度子ども・子育て支援推進調査研究事業の
「認可外保育施設の利用者の保育等ニーズに関する調査」のヒアリングに協力
4. つどいのひろば…世代間交流事業 自然を守る会やむらさき会の皆さんとの交流促進
よちよち親子遊び in 野塩の誕生
5. 不登校居場所事業5年目…学校&家庭との連携強化
6. 野塩つどい・下宿つどい・ひまわり保育室がリニューアル
7. つどいのひろばにネット環境を整備し、市内全小学校の赤ちゃんのチカラプロジェクトにて、
各赤ちゃんひろばと生中継、オンラインで交流
8. ヤングケアラー事業の開始
 - ・ヤングケアラーについての啓発活動(講演会等の開催)
 - ・24時間の相談事業(ライン等)
 - ・生活支援ヘルパーの育成